

(情報 I)

令和 7 年度 シラバス

学番 市中等 1 新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	情報 I	単位数	2 単位	学年	5 学年
使用教科書	実教出版「最新情報 I」 (実教 情 I 705)				
副教材等	最新情報 I 学習ノート プログラミングの基礎Scratch/VBA編				

1 学習目標

・表現やコミュニケーションについての学習を通して、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用し、情報を収集、処理、表現する能力を養う。また、効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導の重点

・コンピュータにおける情報の表し方や処理のしくみ、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を取得させる。

3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動 (指導内容)
4	情報社会と私たち	教科書、 及び 副教材等	情報社会	・情報社会の法規と権利 ・情報技術が築く新しい社会
5	メディアとデザイン		メディアとコミュニケーション	・メディアとコミュニケーション
6			情報デザイン	・情報デザイン ・情報デザインの実践
7	システムとデジタル化		情報システムの構築	・情報システムの構築 ・情報のデジタル化
8	ネットワークとセキュリティ		情報通信ネットワーク	・情報通信ネットワーク
9			情報セキュリティ	・情報セキュリティ
10	問題解決とその方法		問題解決	・データの活用 ・モデル化
11	アルゴリズムとプログラミング		プログラミングの方法	・プログラミングの基本 ・アルゴリズム作成
12			プログラミングの実践	・プログラミング基礎編
1				・プログラミング実践編
2	総合的なまとめ		総合的なまとめ	・総合的なまとめ
3	実習		情報デザインの実践	・Word、Excel、PowerPoint

4 課題・提出物

・座学課題…教科書、及び副教材等の問題、レポート
・実習課題…Word, Excel, Power Pointを用いた基礎実習、プログラミング教材を用いた実習
※課題・提出物等は評価に加える。

5 評価規準と評価方法

〔評価規準〕 評価は次の 3 観点で行います。		
① 知識・技能 ・情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間との関わりについて理解している。	② 思考・判断・表現 ・事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	③ 主体的に学びに取り組む人間性 ・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
〔評価方法〕 ・出席、考査、課題提出、授業への取り組みを総合的に判断して評価する。		